

2017年度第1回京都競馬特別レース名解説

<第1日>

○ 初夢ステークス

初夢（はつゆめ）は、新年になって初めて見る夢。「一富士・二鷹・三茄子」を初夢に見ると縁起が良いとされている。

○ 万葉ステークス

万葉（まんよう）は、現存する最古の和歌集である『万葉集』の略称。大伴家持が編纂に携わったとされ、仁徳天皇期から淳仁天皇期までの短歌・長歌・旋頭歌など約 4,500 首が収録されている。

○ スポーツニッポン賞京都金杯（GⅢ）

本競走は、昭和 38 年に創設された『迎春賞』を前身とする重賞競走。41 年に『スポーツニッポン賞金杯』と改称するとともに、別定重量戦となった。その後、56 年にハンデ戦となり、平成 8 年から東西で行われる金杯を区別するため、現在の競走名に改称された。また、12 年には距離が 2000m から 1600m に短縮された。

スポーツニッポン新聞社は、東京と大阪に本社を置く新聞社。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

<第2日>

○ 福寿草特別

福寿草（ふくじゅそう）は、キンポウゲ科の多年草。旧暦の正月頃に咲き出すことから別名「元日草」とよばれる。日本、東シベリアなどに自生し、多くの品種がある。黄色で直径約 4cm の花が頂生する。花言葉は「幸福」「幸運を招く」。

○ 羅生門ステークス

羅生門（らしょうもん）は、平安京の大門、羅城門（らじょうもん）の後世の当て字。羅城門は、条坊都市の中央を南北に貫いた朱雀大路の南端に構えられた門で、北の朱雀門と相對する。芥川龍之介の短編小説の題としても有名。

○ 淀短距離ステークス

淀（よど）は、京都市伏見区の地名。名は、川の水が淀むことに由来する。宇治川・桂川・木津川の合流点付近を占め、旧河床や自然堤防を利用した野菜栽培が盛んであったが、近年は急速な宅地化が進んでいる。また、京阪電鉄京阪本線の駅名にもなっており、京都競馬場の最寄り駅としても知られている。

<第3日>

○ 五条坂特別

五条坂（ごじょうざか）は、清水寺への参道の1つ。途中で清水新道（茶わん坂）とよばれる道と分岐する。かつては清水焼の窯元が数多くあり、現在でも道沿いには陶器店が軒を連ねている。

○ 寿ステークス

寿（ことぶき）は、祝うべき事柄。また、祝いの言葉や儀式のこと。

○ 日刊スポーツ賞シンザン記念（GⅢ）

本競走は、シンザン号の栄誉を称え昭和42年に創設された重賞競走。同馬は、39年にセントライト号以来23年ぶり、日本競馬史上2頭目の三冠制覇という偉業を達成し、翌年には天皇賞（秋）と有馬記念も制して五冠馬の称号を得た。引退後も種牡馬として活躍し、59年に顕彰馬に選出された。

日刊スポーツ新聞社は、北海道・東京・愛知・大阪・福岡に本社を置く新聞社。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

<第4日>

○ 白梅賞

白梅（しらうめ）は、白色の花をつける梅。梅は、中国原産のバラ科の落葉高木。花は早春、葉に先立って開く。果実は球形の核果で酸味が強く、梅干しや梅酒に加工される。花言葉は「気品」「忍耐」。

○ 北大路特別

北大路（きたおおじ）は、京都市街地北部を東西に走る幹線道路。東は白川通りから西は金閣寺前に至り、沿道には大徳寺や船岡山公園などがある。烏丸北大路には、バスターミナルや地下鉄の駅があり、京都市北部の交通の拠点となっている。

○ 新春ステークス

新春（しんしゅん）は、新年、正月の別称。昭和 29 年に国営競馬が日本中央競馬会へと移管されて以来、現存する最も古い競走名の 1 つ。

<第 5 日>

○ 雅ステークス

雅（みやび）は、宮廷風であること、上品で優美なこと。「俚（さと）び」に対する語。江戸時代の国学者本居宣長は、平安時代の和歌、物語を含む古代文化の中心にあるものを「みやび」とよんだ。

○ 紅梅ステークス

紅梅（こうばい）は、紅色の花の咲く梅。『源氏物語』第四十三帖の巻名でもある。梅は、中国原産のバラ科の落葉高木。300 種類以上の品種があり、大別して野梅系・緋梅系・豊後系がある。花言葉は「忠実」「優美」。

○ 日経新春杯（G II）

本競走は、昭和 29 年に『日本経済新春杯』として創設された重賞競走。54 年に現在の競走名に改称された。56 年から平成 5 年までは別定重量戦で実施されていたが、6 年にハンデ戦に変更され、現在に至る。

日本経済新聞社は、東京と大阪に本社を置く新聞社。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

<第 6 日>

○ 祇園特別

祇園（ぎおん）は、京都市東山区八坂神社（祇園社）およびその周辺の地名。門前町として発展し、花街としても知られる。現在でも、町家や石畳の風情が残り、京都観光の中心地の 1 つとして親しまれている。

○ 若駒ステークス

若駒（わかごま）は、若い馬のこと。本競走は、春のクラシック戦線を占う一戦としても知られている。

○ すばるステークス

すばるは、牡牛座にある散開星団、プレアデス星団の和名。数多くの星によって構成されているが、肉眼で確認できる星は 6 個程度であることから、「六連星 (むつらほし)」ともよばれる。

<第7日>

○ 睦月賞

睦月 (むつき) は、陰暦一月の異称。睦び月 (むつびつき) ともいう。

○ 山科ステークス

山科 (やましな) は、京都市東部の区名。古くから大和と近江を結ぶ交通の要地で、平安京の近郊農村として瓜、茄子、染料用の茜栽培などが盛んであった。藤原鎌足創建の山階寺 (やましなでら) 跡・天智天皇陵・本願寺跡・勸修寺 (かじゅうじ) など史跡が多い。

○ 石清水ステークス

石清水 (いわしみず) は、石清水八幡宮の略称。石清水八幡宮は、京都府八幡市にある旧官幣大社。都からみて裏鬼門に位置しており、鬼門に位置する比叡山延暦寺とともに都の守護、国家鎮護の社として崇敬を受けてきた。